



## 認知症カフェのお話 オレンジカフェ ホルトノキ ～ホッとする ルンルンで ともだちできる ハハ っさ～

オレンジカフェホルトノキ代表の樋口洋一さんにお話を伺いました。

### 【ホルトノキのはじまり】

特別養護老人ホームシャロームでは、創立当時より様々なボランティアの方々に支えられてきましたが、令和2年に始まったコロナ禍により、多くのボランティアの方々を断らなくてはならなくなってしまいました。大津地区社協高齢者福祉部会(以下「高齢者部会」)の皆様についても、これまで「洗濯たたみ」や「バザー」へのご協力を頂いておりましたが、同様にその活動ができなくなってしまい、協力したい思いがある地域住民の方と、その思いに応えることができない施設との関係が数年続いていました。

令和6年1月、認知症基本法が施行されたのを契機に、認知症の人を尊重する共生社会の実現の為、「つながりの場」を作りたいと高齢者部会の皆様に相談したところ、『一緒に認知症カフェをやってみよう』と話し合い始めたのが、同年6月でした。高齢者部会の皆様は、認知症サポーター養成講座を受講しており、今ではカフェスタッフとして毎月4～5名の方が、カフェ開催に協力してくださっています。カフェ開催まで、施設職員として高齢者部会の皆様の前で「認知症カフェとは？」というお題でお話をさせて頂くなど、下地を築き上げ、この度、高齢者部会がシャロームに協力という形で、「ホルトノキ」はスタートしたのです。

### 【駅前のシャロームひろばを活用して】

開催当初は、「認知症について」を考える時間を取ろうと考えていました。しかし、テーブルそれぞれで、身の回りの事や心配事などで盛り上がり、笑い声や話し声が絶えなくなっているため、現在では特に決まり事を設けないこととしました。

回数を重ねて、必要に応じて対応していきたいと考えていますが、「認知症啓発」や「認知症を学ぶ」時間よりも、皆様同士でつながる時間に重きを置くことを大事にしたいと考えています。更に、ホームで働く職員が毎回参加することで「地域福祉」についても学べる時間になっている事にも感謝しています。



**シャロームカフェホルトノキは、毎月第3日曜日午後2時から午後3時30分、京急大津駅前シャロームひろばで開催します。お気軽にいらして下さい。**

### 【地域の人へのメッセージ】

大津地区は面積が広く、現在の場所が集まりやすい場所であるかというところではありません。ホルトノキのつながりが、1カ所から2カ所、2カ所から3カ所と開催の場を広げていくことが大事だと考えています。社会福祉法人として、そのニーズに応えるべく、今後も大津高齢者部会の皆様と支え合いながら活動していければと思っています。



問い合わせ先:福祉総務課 地域力推進係 (046-822-9804)